

みんなの知恵を持ち寄って

行政懇談会

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちがいきいききらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに関するご意見、ご要望などを直接住民からお聞きし、今後の町政に反映させることを目的に開催するものです。

※行政懇談会でいただいた意見の一部を、抜粋して掲載しています。



テーマ「平成29年度予算について」

宮ノ裏自治会

6月25日

午後6時～7時40分

宮ノ裏公民館

参加者21人



行政 町長より平成29年度予算内容（主要事業等）について説明
自治会 特別会計について説明してほしい
行政 特別会計は一般会計以外の会計であり、5つの会計がそれぞれ独立した収支で運営している。一般会計から繰り入れをしているものもある
自治会 町債の発行額と今後の推移は
行政 一般会計と特別会計を合わせて、平成17年度では町債（町の借入金）の残額が約200億円あったが、平成27年度決算で約150億円に減っている。今後、学校施設等の改修費用など

の借入が増えていくことが予想される
自治会 財政調整基金の説明を
行政 財政調整基金は、特定の目的に限定することなく財源を補うために使える基金である。平成28年度の基金残高は約40億円である
自治会 ソウブチ池の改修時に、外来種のカメをどう駆除するのか
行政 今のところ予定はないが、大規模改修に伴う自然体系の変化などによりミシシッピアカミミガメが大量に繁殖することがないように検討・対処していきたい
自治会 土山駅南モニュメントの人形をいせきくんとやよいちゃんにできないか
行政 改修を行うことは想定していないが、近くに寄付金による新しいモニュメントを設置し、ライトアップを予定している
自治会 教育施設等の改修年数など、中長期計画を教えてください
行政 30年程度先までの修繕計画を町でまとめている最中であり、学校施設の計画はできており、改修費は平成35年をひと区切りに減少する予定である

自治会 コミュニティバスの運行はいつできるのか
行政 昨年からの3度の募集をかけているが、地域公共交通会議で決定した条件に合わないため業者の選定に至らず、現在4度目の募集を検討している。今年度中に募集をかけ、一刻も早い実証運行を目指す
自治会 町の独自事業で実施できないのか
行政 町営バスとして運行するのではなく、民間企業での運行を支援する形を考えている
自治会 空き家対策は行政として何をするのか
行政 播磨町では平成27年度に実態調査を実施し、空き家を約200戸確認した。平成28年度には空家等対策計画を策定し、様々な活用ができるように協議会も立ち上げ、所有者に情報提供できればと思っている
自治会 ロードレース大会に著名なゲストラランナーを招待するところがあるか
行政 例年よりも少し上乗せした予算で検討している。ゲストラランナーとは別にヴィッセル神戸にも協力していただく予定である
自治会 日本丸の寄港に高額

な費用が必要なのか
行政 予算は、安全に実施するための警備や送迎バスの費用などに充てる。記念事業は町民にとって思い出となるものにと考えており、体験した人が次の世代へその感動を引き継いでもらえればと考えている
自治会 いきいきセンターの改修はいつからか
行政 入札により業者は決定しており、プールは12月～1月を予定している
自治会 広域ごみ処理施設は新しく建設するのか。また稼働後は今までとどう変わるのか
行政 施設は高砂市に新設する。平成29年4月に解体工事、平成34年4月の稼働を予定している。費用負担は、建設費は均等割と人口割等で、稼働してからはゴミ量割になる。現在のゴミ収集などを後退させないようにしていきたい
自治会 ふるさと納税など何か歳入を増加させる手立てはあるのか
行政 ふるさと納税は安定した歳入としては期待できないため、定住促進など確実な継続性のある税収入に期待している

加古川市消防本部

救急受診判断アプリ(Q助)を

公開しました

▼問合せ 加古川市消防本部救急課救急係 ☎079(427)6552

総務省消防庁は、急な病气やけがをしたときに、救急車を呼ぶか自分で病院を受診するべきかの判断を助けてくれるアプリ「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」を公開しました。

該当する症状を画面上で選択していくと、「いますぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」、「引き続き、注意して様子を見てください」などと緊急度に応じた必要な対応が、緊急性をイメージした色とともに表示されます。

Q助は、利用無料で個人情報登録は不要。配信サービス「アップルストア」や「Google Play」からダウンロードしスマートフォンで利用できるほか、パソコンでは消防庁のホームページから利用できます。

また、判定の結果、救急車を呼ぶ必要がないとなった場合には、医療機関の検索や、受診手段の検索を行うことができます。



救急車を呼ぶかどうか迷ったときに役に立つアプリとなっていますので、まずはインターネットで「Q助」と検索、ぜひご利用ください。

「播磨町総合防災マップ」を活用して、台風や大雨に備えましょう

▼問合せ 危機管理グループ ☎079(435)0991

夏、初秋にかけては、局地的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)が発生しやすい時期であり、台風も日本列島に上陸するものが多くなってきました。いざという時のために、「播磨町総合防災マップ」を活用して、ご家族や地域で話し合ってみてはいかがでしょうか？



●日頃から風水害へ備えましょう

- 避難場所を確認し、実際に避難路を歩いてみましょう
- 家族がばらばらの時の連絡方法や、待ち合わせ場所を決めておきましょう
- 非常持ち出し品を確認したり、置き場所や、持って出る人を決めておきましょう

●台風や大雨の季節になったら…

- 浸水してしまつて困るものは、2階以上へ置いておきましょう
- 窓や雨戸を補強したり、側溝や排水溝は掃除しておきましょう(強風時・大雨時の作業は危険ですので避けましょう)
- 風で飛ばされそうなものは固定したり、家の中にしましましょう
- 情報収集の手段を複数確保しましょう

●台風や大雨が迫ってきたら…

- テレビ・ラジオ・インターネットから情報を収集しましょう
- 不要・不急の外出は控え、田畑の見回りなどは極力控えましょう
- 被害が発生する前に、早めの避難を心がけましょう(避難場所は、災害の種類や状況によって変わることがあります)

●水難事故にもご注意ください

雨がやんでも、大雨の後しばらくは、河川の増水が続いています。河川敷でレジャーやイベントを行う場合は十分注意し、不用意に近づかないようにしましょう。

